

サイディングボードの
高耐候性・透明防水保護工法

セブンサイディングコート

施工要領書

2023年5月改訂版



目次

1. サイディングボードの標準工程	3
2. 適応下地.....	3
3. 施工条件.....	3
4. 施工上の注意.....	4
5. 施工手順.....	4
6. 使用材料一覧.....	5

1. サイディングボードの標準工程

工 程	使 用 材 料	希 積 (重量 比%)	塗付け 量 (kg/ m ²)	工程時間 (時間)	施 工 方 法	
1	下塗り	水性サイディングコートシーラー	水道水 (0~10)	0.12~ 0.15	3 以上 24 以内	中毛ローラー
2	主材塗り	水性サイディングコート	水道水 (1~5)	0.3~ 0.4	16 以上	砂骨ローラー(標準目)
3	上塗り	水性サイディングコートトップ	水道水 (0~10)	0.12~ 0.15	3 以上 24 以内	中毛ローラー
4	上塗り	水性サイディングコートトップ	水道水 (0~10)	0.12~ 0.15	24 以上 (最終養生)	中毛ローラー

2. 適応下地

サイディングボード

3. 施工条件

- ① サイディングボードに破損・欠損や反り、またひび割れの程度が悪く補修が難しい場合には、あらかじめサイディングボードの張替えなど適切な補修をしてください。
- ② 収縮目地やその他のシーリング材が劣化し、補修の必要な個所は打ち替えを行い乾燥させた後で、シーリング材の上は養生するか、見切るなどして塗装は避けてください。
- ③ 下地ごしらは、水性サイディングコートシーラーを塗り付ける前に実施してください。
- ④ カビや藻などの微生物汚染を生じている場合は、カビ取り剤やアルコール液で殺菌してください。
- ⑤ 塵埃や付着異物などは安全性の高い洗浄剤等で除去し、その後は十分に高圧洗浄などで洗い流してください。
- ⑥ 水洗後のサイディングボード面を十分乾燥させてください。
- ⑦ セブンサイディングコートは透明仕上げの為、汚れたローラーやハンドルなどの道具は使用しないでください。

4. 施工上の注意

- ① サイディングボードが「直張り工法」(透湿防水シート上に直接張り)の場合には、内壁側に介在した湿気が表側に伝わりやすいため、サイディングコートの施工はできません。「通気工法」であることをご確認ください。
※直張り工法の場合は、一般的にシーラー／トップ、またはトップ塗り工法での仕上げです。
- ② 水性サイディングコートシーラー及び水性サイディングコート、水性サイディングコートトップ施工後、一度透明になっても塗り付け後に短時間で降雨が当たると、塗膜が吸水し白濁と透明を繰り返す場合があります。
- ③ 低温(5℃以下)の場合、樹脂の乾燥硬化に支障をきたす場合があるため施工を避けてください。高温(気温 35℃以上、躯体温度 30℃以上)、及び湿度 80%Rh 以上の場合は塗膜の乾燥性、ローラー作業性、及び仕上げ性に支障をきたす場合がありますので十分注意してください。
- ④ 降雨、降雪の恐れがある場合は施工を避けてください。
- ⑤ 風速 5m/sec 以上のときは、塗材の飛散被害・塗り付けムラ等の支障をきたすので、風養生対策を十分にするか施工を避けてください。
- ⑥ 材料の保管は、風雨・直射日光を避け、必ず 5℃以上の冷暗所で保管してください。
- ⑦ 塗り付け途中、又は乾燥途中に急に雨が降ってきたときは、少なくとも塗膜が乾燥するまで天幕などで覆って流出しないようにしてください。あらかじめ、軒養生も検討してください。
- ⑧ 各工程での塗装後すぐに塗り付け面を養生シート等で密閉すると、養生シートと塗膜が接着し剥がれなくなるため、養生シート等で密閉しないように注意してください。
- ⑨ 材料の取り扱いの前には、SDS を確認してください。

5. 施工手順

(1) 下塗り

- ① 下地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行ってください。
- ② 水性サイディングコートシーラーは水道水で0~10%(重量比)希釈し、清浄なハンドミキサー等で均一に混合してください。
- ③ 中毛ウールローラー塗りにより、塗り残し・塗り継ぎムラの生じないように均一に所要量を塗り付けてください。目地モルタル、タイル面の濡れ色が均一にならない部分は、乾燥後塗り増し仕上りを均一にしてください。(下地、サイディングボードの柄・模様などの状態により異なる場合があります。)

(2) 主材塗り(砂骨ローラー 標準目塗り)

- ① 指触で下塗りの乾燥後(3時間以上が目安)、主材塗りを始めてください。
- ② 水性サイディングコート(主材)を 1~5%(標準で 3%程度 重量比)水希釈し、均一に混合します。混合方法は、気泡が混入しないように低速攪拌機、または攪拌棒などで静かに「の」の字を書くようにして攪拌してください。

- ③ 標準目砂骨ローラーに水性サイディングコートをたっぷりと含ませ、気泡が混入しないように、配り塗りし、仕上げ塗りし均一に仕上げてください。(あらかじめ砂骨模様の仕上げ方向を合わせて、施工面全てで合わせてください。)

(3) 上塗り(中毛ローラー塗り)

- ① 水性サイディングコート(主材)の乾燥硬化(透明化)を確認後、上塗り工程を行ってください。
- ② 水性サイディングコートトップの基剤中に配合してある艶消し剤が缶底や縁に沈降し、層状態になっている場合もございますので、十分に攪拌後、基剤/硬化剤を 10:1(重量比)、0~10%水希釈し清浄なハンドミキサー等で攪拌混合してください。(基剤の混合では別缶への空け替えをお勧めします)
- ③ 中毛ローラーにより、塗り残し及び塗りムラの生じないように塗り付けてください。
- ④ 1回目のトップコートが十分に乾燥してから、2回目を塗り残しのないように均一に塗り付けてください。
- ⑤ 水性サイディングコートトップの塗り残し及びカスレ部分は塵埃等により経年で黒く汚れてくるため、塗り残し、カスレがないようご注意ください。

6. 使用材料一覧

工程	製品名	容量	荷姿	備考
下塗り	水性サイディングコートシーラー	15kg 4kg	石油缶	水性 1 液形下塗り材
中塗り	水性サイディングコート	14kg 4kg	石油缶	水性 1 液形中塗り材
上塗り	水性サイディングコートトップ	11kg セット 3.3kg セット	石油缶	基剤/硬化剤 10:1



東京都港区芝公園 2-4-1 芝パーク A 館 12F

TEL 03(6809)2597 FAX 03(6809)2598

<https://www.seven-chemical.co.jp>